

コンプライアンス・リスクマネジメント

☰ 企業情報 → CSR活動 → コンプライアンス・リスクマネジメント <http://www.tdk.co.jp/csr/csr01700.htm>

コンプライアンスの基本的考え方

企業は、お客様、取引先、従業員、株主、地域社会など、すべてのステークホルダーによって支えられている社会的存在であることを認識し、よき企業市民として法令等の社会規範を遵守するとともに、社会に対し公正かつ公平でなければなりません。企業の社会的責任を果たすため、当社はこれらの事項を「企業倫理綱領」に明確に掲げ、同綱領に定められた行動基準に従って、当社グループ全構成員は厳格に行動しています。また、企業倫理・CSR委員会は当社グループの経営理念である「社是・社訓」ならびに「企業倫理綱領」を周知徹底し、社是の実践と社会的責任に対する意識の浸透を図っています。

リスクマネジメントの取り組み

当社グループとして事業活動が抱えるリスクに適切に対応するため、経営会議直属のリスク管理委員会（責任者は社内規程に基づき選任された執行役員）を設け、全社的リスクマネジメント（ERM）の導入と推進を図っています。事業を取り巻く重要なリスクから、特に経営目標の達成を阻害するリスクを抽出し、主管機能をリスクオーナーとして機能横断的にリスクを軽減する全社的活動を展開しており、リスク管理活動を通じて全社的な業務改善も進めています。

一方、不測の事態（危機）が発生した場合の対策については、危機管理委員会が中心となり活動を展開します。また、個別のリスク（法務、財務、IT、災害、環境等に関するリスク）に対しては、全社規程・細則・要領および部門ごとに定める部門要領で運用ルールを定めるとともに、日常のリスクに対してはその領域ごとの業務執行責任者が対応します。さらに、監査役および内部監査組織である経営監査部がリスク対策の実施状況をモニタリングし、リスク低減のための助言および支援を行うほか、顧問弁護士から、当社グループに起こり得るリスクについて助言を随時受けています。

新型インフルエンザへの対策

TDKでは、2006年度から新型インフルエンザ対策の検討を開始しています。2008年度は新型インフルエンザを従業員に正しく認識してもらうため、2009年1月に「(新型)インフルエンザへの備え」を制定し、正しい知識とWHOのフェーズごとの行動計画を周知しました。また、2009年度に発生した弱毒性新型インフルエンザの経験から、強毒の対応策だけでなく、弱毒性の対応策策定に取り組んでいきます。

情報セキュリティ

当社では、情報セキュリティの維持と向上のため、2005年7月に情報セキュリティ基本方針を策定し、全従業員が六つの行動指針の下活動しています。具体的には、以下のような活動を行っており、これらの活動を統合した情報セキュリティ管理体制を構築しています。

- お客様からの預かり情報・営業機密情報の管理の強化
- 本社情報システム機能を中心とした、情報セキュリティ・マネジメントシステム（ISMS）認証（2005年12月）
- 2005年4月に施行された個人情報保護法への対応

2009年度は、お客様から情報セキュリティ管理強化の要望を多くいただくようになったことを踏まえ、下記の活動を実施しています。

- 社外からのモバイルアクセス認証方法を強化
- TDK 社内情報区分方法の再周知（eラーニング）
- 施設セキュリティ内部自主チェック（共有チェック項目）の開始



情報セキュリティに関する社内ルールを全従業員に徹底させるため、eラーニングによる社内教育を毎年実施しています。